

資料-2

コミュニティバス北部循環市立病院線 及び予約型乗合バスの運行について

1. コミュニティバス北部循環市立病院線 1-1. 昨年度の取り組み

●改善コンセプト

- ・現行の予算内で、小出地域のニーズに合わせたサービス提供
- ・予約型乗合バスを導入し、小出地区全体をカバーしたサービスを提供

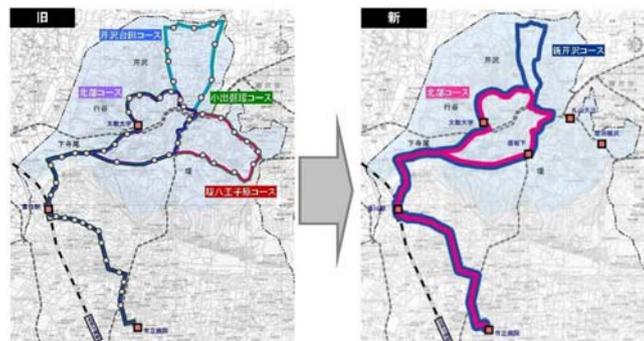
●改善内容(H25年12月21日より)

①北部循環市立病院線

- ・堤八王子コース → 予約型乗合バス
- ・小出循環コース → 予約型乗合バス
- ・芹沢台田コース → 新芹沢コース
- ・20本/日 → 13本/日
- ・3台 → 2台

②予約型乗合バス

- ・ワゴン1台で運行開始



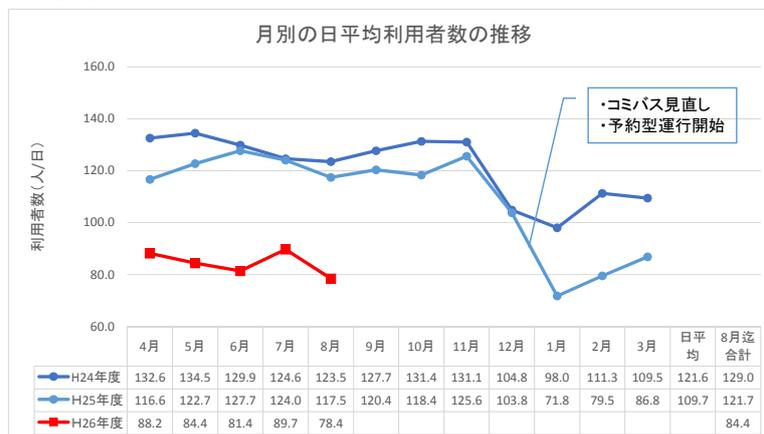
コース名	経路	本数(平日)	本数(休日)
北部循環コース	市立病院-堤八王子-市立病院	5本/日	-
小出循環コース	市立病院-小出台田-市立病院	7本/日	-
堤八王子コース	市立病院-堤八王子-市立病院	6本/日	-
小出循環コース	市立病院-小出台田-堤八王子-市立病院	1本/日	1本/日

コース名	経路	本数(平日)	本数(休日)	料額
予約型乗合バス	市立病院-文政大学 →市立病院-市立病院	5本/日	5本/日	44,400円
予約型乗合バス	市立病院-文政大学 →市立病院(乗車入口)-市立病院	5本/日	5本/日	44,700円

1

1-2. 利用状況報告 (1) 年度別の日利用者数の推移

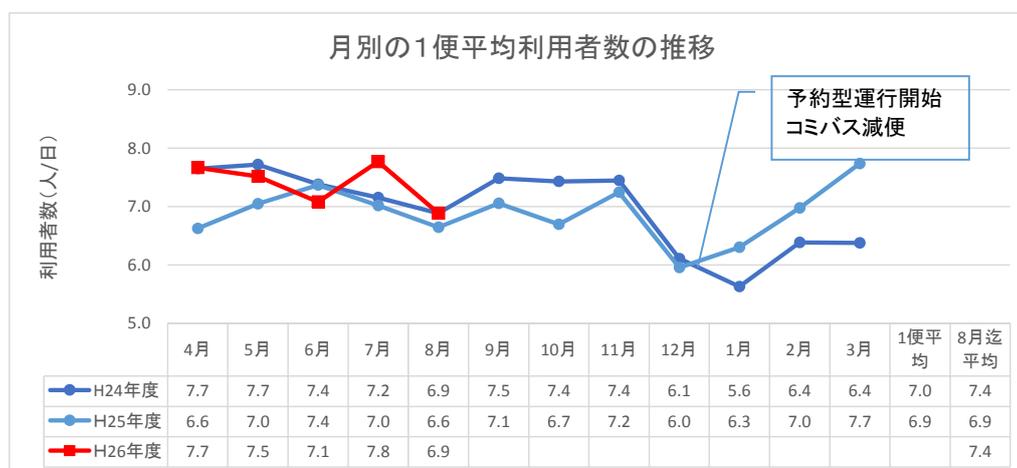
- コミバスの見直し前は1日あたり約120人/日の利用者に対し、見直し後は約84人/日と減少。



2

(2) 1便月別の日平均利用者数の推移

- H26年度の1便平均は7.4人/日と前年比107% (6.9人/日) と上回っている。



3

(3) コミバス(北部)のまとめ

- 運行の見直しに伴う減便により、日利用者数は、84人/日と減少。
- しかし、1便平均では、7.4人/日と前年比107%と上回っている。



- 減便の利便性低下により利用者減少が懸念されたが、1便平均は若干、上回っていることから地域住民の方が利用できるサービス水準は維持されていると考えられる。
- 120人/日の利用者が84人/日に減っており、これは路線バスや導入した予約型乗合バスなどの他の交通手段に分散したものと考えられる。
- 今後は、予約型乗合バスからコミバスへの乗換利用を期待するとともにコミバスの利用促進を図って行く方針である。

4

2. 予約型乗合バス

2-1. 運行概要

- 周辺自治体と比べ、茅ヶ崎市の運行サービス水準は若干高い。

	項目	茅ヶ崎市 (予約型乗合バス)	中井町 (中井ふれあいバス)	二宮町 (にのタク)
1	運行エリア	小出地区内限定	町内全域と町外の病院やスーパーの4箇所	富士見が丘、松根、山西(釜野5区)
2	利用対象者	制限なし	制限なし	運行エリアの住民
3	利用者登録	必要	必要	必要
4	運行日	毎日	平日(土日祝は運休)	平日(土日祝は運休)
5	運行時間帯	午前7時～午後8時	午前7時～午後9時	午前9時30分～午後5時
6	運行ダイヤ	予約に合わせて運行	予約に合わせて運行	30分間隔の全16便
7	乗合所	小出地区内(136箇所)	町内(120箇所)と町外(4箇所)	居住地区(59箇所)と駅やスーパーなど6箇所
8	利用運賃	一律100円	町内～町内200円 町内～町外間300円	400円 まとめて予約割(2人=300円/人、3人=250円/人、4人=200円/人)
9	車両	ワゴン 1台(定員10人)	ワゴン 2台(定員12人)	セダン
10	予約方法	電話またはインターネット	電話またはインターネット	電話
11	電話受付期間	当日60分前まで	当日60分前(平日のみ)	30分前(1便は前日予約)
12	電話受付時間	365日 午前9時～午後6時	365日 午前8時30分～午後5時	365日 午前9時～午後4時30分
13	運行事業者	神奈中ハイヤー	湘南神奈交バス	相模中央交通、二宮神奈中ハイヤー

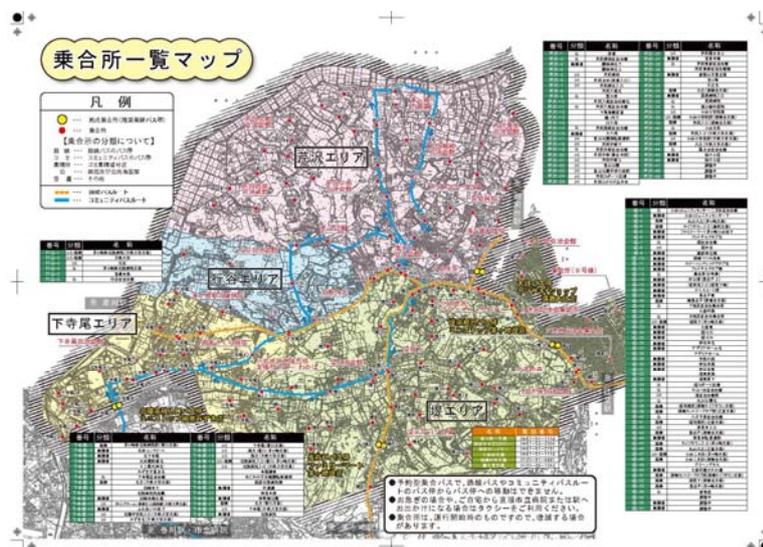
5

2-1. 運行概要

■運行エリア

○乗合所設置の考え方

- ・100m間隔を目安とし、乗合所の多くにゴミ集積所を選定
- ・なるべく壁面、フェンス等へ設置可能な場所を選定
- ・交通管理者及び道路管理者等との協議結果による



6

2-2. 利用状況報告

(1) 登録・利用状況

- 登録者数は、8月末時点で1,348人と小出地区人口の12%。
- 利用者は、192人で小出地区人口の2%、登録者の13%。

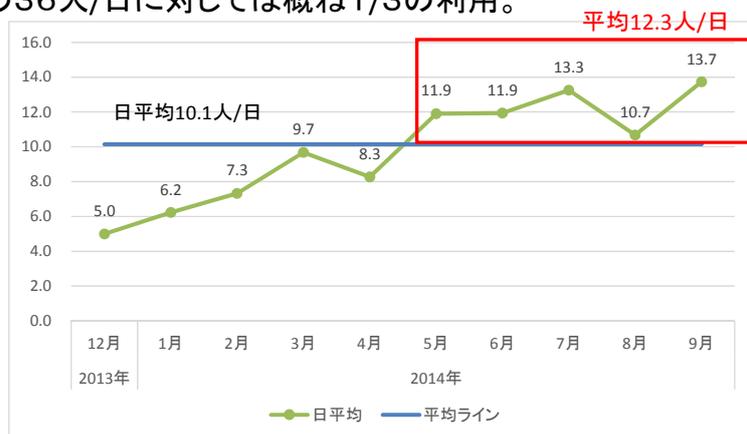
地区	人口 (人)	登録者		利用者		
		登録者数 (人)	地区人口に対する割合(%)	利用者数 (人)	地区人口に対する割合(%)	登録者数に対する割合(%)
芹沢	2,399	411	17%	62	3%	15%
行谷	446	40	9%	0	0%	0%
下寺尾	1,226	150	12%	15	1%	10%
堤	6,306	600	10%	84	1%	14%
その他地区(※)	-	147	-	31	-	21%
小出地区合計	10,377	1,201	12%	161	2%	13%
総計	-	1,348	-	192	-	14%

※その他地区：小出地区以外の茅ヶ崎市住民及び市外の方

7

(2) 日利用者数

- 利用者は増加傾向にあり、運行期間の平均では10.1人/日。
- 直近の5ヵ月では、12.3人/日。
- 当初目標の36人/日に対しては概ね1/3の利用。



8

(3) 新規利用者の推移

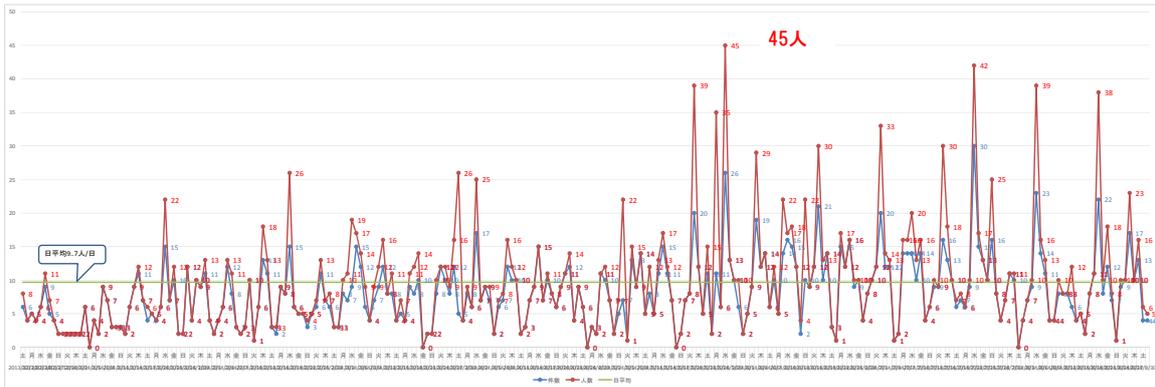
- 昨年12月末に運行を開始している中、毎月約20人の方が新規に利用。
- 今後しばらく、利用者数は増加するものと期待される。
- 新規利用者は、地区内の高齢者が多く、登録後時間がたってからの利用者もみられる。



9

(4) 日最大利用者数

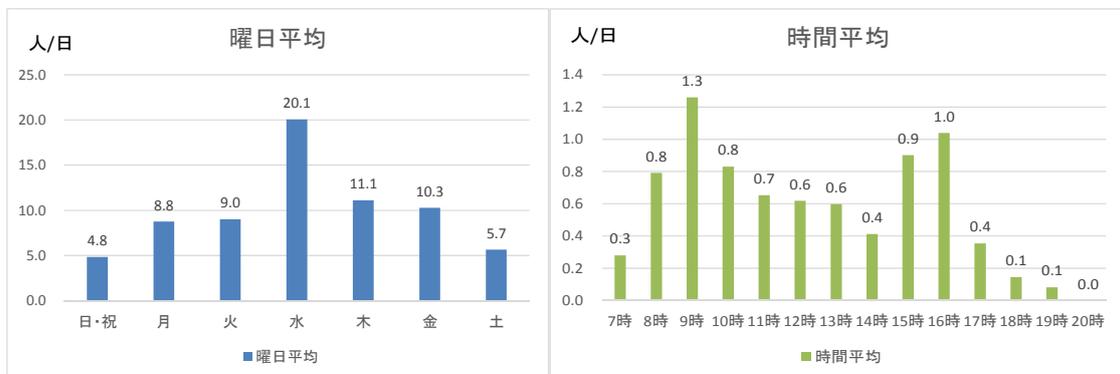
- 日最大利用者数は、45人/日で40人程度の利用は5日あり、平均すると12人/日。
- 日利用者数が多い日は、複数人での予約されていることが要因と考えられる。
- 利用者数が少ない日は、土・日・祝日に多くみられる。



10

(5) 曜日、時間帯

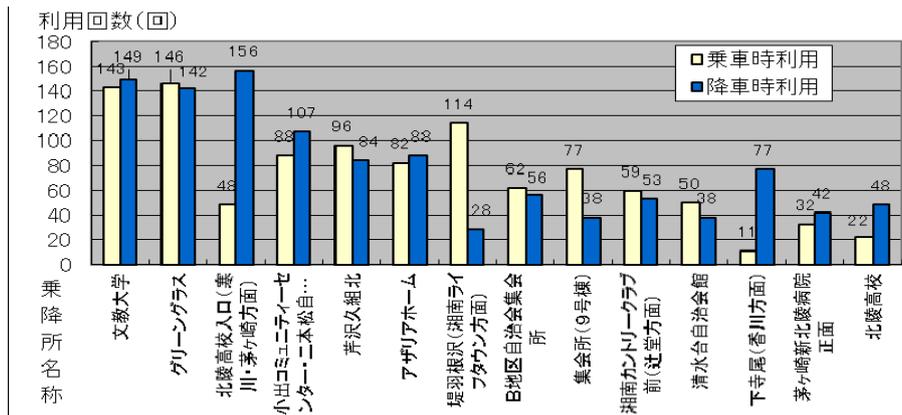
- 曜日別では水曜日の利用者が多い。
- 時間帯別では、9時台と、15～16時台が多い。



11

(6) 乗合所

- 乗降者数が多い乗合所としては、文教大学とグリーングラス(生活介護事業所)が多い。
- 北陵高校入口(寒川・茅ヶ崎方面)は降車利用が非常に多い。
- その他の乗合所としては、集会所等が多くあがっている。



12

2-2. アンケート結果

(1) 配布・回収状況

- 利用者を中心とした登録者アンケートの回収率は、58%と高い回収率であった。
- 非利用者を主な対象者とした住民アンケートの回収率は、35%であった。

■登録者アンケート

項目	内容	
目的	主に利用者している方の利用の仕方などの把握を目的	
配布対象	登録者の全世帯	
発送・配布件数	500世帯	
回収数	289世帯	
回収率(%)	58%	
回収人数	全体	289人
	利用者	82人(28%)
	非利用者	201人(70%)
	未回答	6人(2%)
備考		

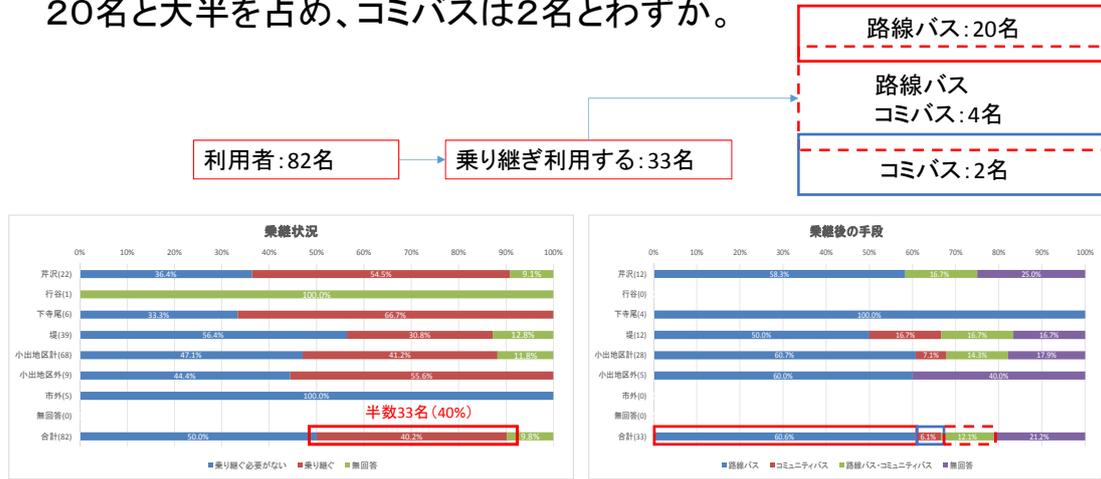
■住民アンケート

項目	内容		
目的	主に利用していない方の利用しない理由など利用促進に向けたニーズ調査		
配布対象	小出地区内の住民		
発送・配布件数	800世帯		
回収数	282世帯		
回収率(%)	35%		
回収人数	地区全体	580人	
	下寺尾	100人(17%)	
	芹沢	124人(21%)	
	行谷	75人(13%)	
	地域	湘南ライフトاون	189人(33%)
	堤	上記以外	91人(16%)
未回答	1人		
備考			

13

(2) 登録者アンケート調査結果概要(乗継状況)

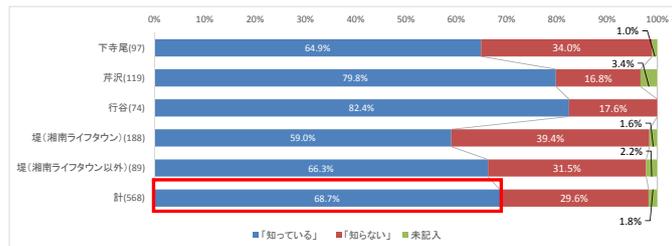
- 利用者82名の内、半数に当たる33名が「乗り継ぎ利用する」と回答。
- 「乗り継ぎ利用する」と回答した33名の内、路線バスへの乗り継ぎが20名と大半を占め、コミバスは2名とわずか。



(3) 住民アンケート調査結果概要(認知状況・利用有無)

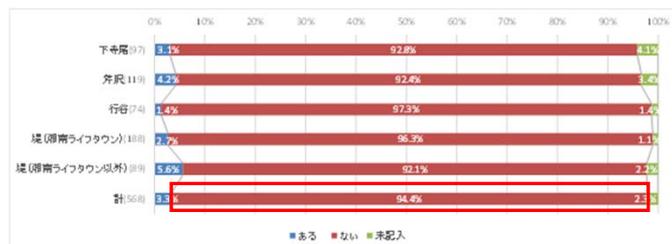
●認知状況

「予約型バスを知っていますか」の設問には「知っている」が68.7%と多い。



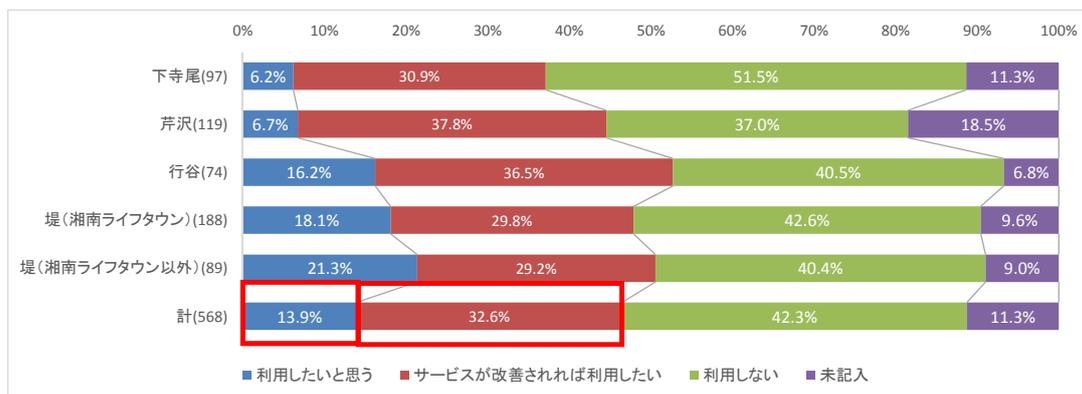
●利用有無

「利用したことがあるか」の設問には、「利用したことがない」が94.4%と利用したことがない人が多い。



(4) 住民アンケート調査結果概要(利用意向)

- 利用意向は「利用したい」と思うが13.9%、「サービスが改善されれば利用したい」が32.6%と、合わせて回答者の約45.0%が利用することを考えている。



16

(5) 住民アンケート調査結果概要(潜在需要)

- アンケートより、「予約型乗合バス」利用したことがないと回答した536人を対象に、今後の潜在需要を抽出した。

その結果、



17

(6) 住民アンケート調査結果概要 (潜在需要のニーズ)

- サービスが改善すれば利用すると回答した、潜在的に利用が見込まれる51人の利用しない理由は、

1位「行きたい場所に行けない」

58.8%

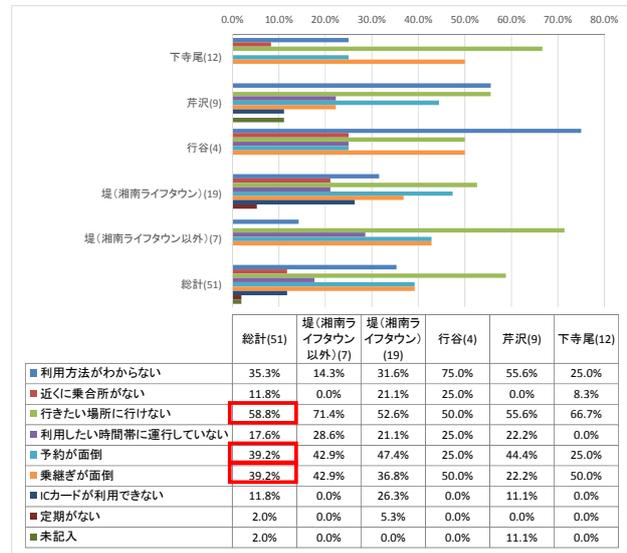
例:「湘南ライフタウン」「テラスモール」

2位「予約が面倒」 39.2%

例:「電話するのが面倒」「電話しないと利用できる時間がわからない」

2位「乗継が面倒」 39.2%

例: バス・電車の時刻を調べるのが面倒、乗継待ちの時間が長く不便



18

2-3. 課題整理

新規利用者が毎月約20人増加し、利用者数は増加しているもの、目標の36人を下回る約12人(6月～8月平均)と1/3。

利用者増加に向けた課題は、以下のとおり。

- 課題1: 今後の利用が望まれる潜在需要(51人)の改善ニーズへの対応
 - 行きたい場所に行けない(59%)
 - 予約が面倒(39%)
 - 乗継ぎが面倒(39%)
- 課題2: バス停から離れた交通不便地域の住民の利用を狙い予約型乗合バスを導入しているもの、交通不便地域の利用は低い。
 - 交通不便地域の登録者220人(交通不便地域人口の18.3%)
 - 交通不便地域の利用者31人(交通不便地域人口の2.6%)

19

2-4. 利用者増加に向けた改善について

●課題: 潜在需要のニーズへの対応

- 行きたい場所に行けない(59%)
- 予約が面倒(39%)
- 乗継ぎが面倒(39%)
- 交通不便地域の利用促進

●改善策

運行改善: 乗合所の追加

- ・ 潜在需要のニーズへの対応
(湘南ライフタウン※後述)

利用促進: 利用ガイドの更新

- ・ インターネット予約(7/30日開始)
- ・ 乗合所の追加

利用促進:

- ・ 時刻表の配布(集会所、特養等)
- ・ 予約方法の説明会の開催

運用改善: インターネットの利用者登録

20

2-5. 乗合所の追加検討

(1) 目的地ニーズ

● 潜在需要の目的地ニーズ

サービスが改善すれば利用すると回答した潜在需要のよくでかける目的地は「湘南ライフタウン周辺」が多い。

主な目的地	もっとも多く外出する	2番目に多く外出する	合計
湘南ライフタウン周辺(藤沢市)	33	27	60
茅ヶ崎駅周辺	24	24	48
その他市外	18	26	44
その他市内	16	12	28
辻堂駅周辺	11	16	27
市外(辻堂駅経由)	13	11	24
湘南台駅周辺	15	7	22
寒川駅周辺	6	9	15
市外(湘南台駅経由)	5	10	15
小出地区内	8	6	14
市外(茅ヶ崎駅経由)	7	7	14
北陵高校周辺(みずき周辺)	8	2	10
香川駅周辺	5	2	7

21

3. 道路運送法21条から4条への切り替えについて (1)切り替えの必要性

- 平成25年12月21日より予約型乗合バスを運行開始。
- 運行は、「神奈中ハイヤー株式会社」による21条の運行許可。

<道路運送法21条2項>

一般乗合旅客運送事業者によることが困難な場合において、**一時的な需要のために**国土交通大臣の許可を受けて地域及び期間を限定して行うとき。

<許可の範囲>

21条許可は、運行する期間が1年以下のものとする(運行目的に制限あり)。

<道路運送法4条へ切り替える>

・地域公共交通会議での合意が必要。合意後、処理期間を2ヵ月とし、証明書を添付し、運行事業者が手続きを行う必要がある。

24

(1)運行概要

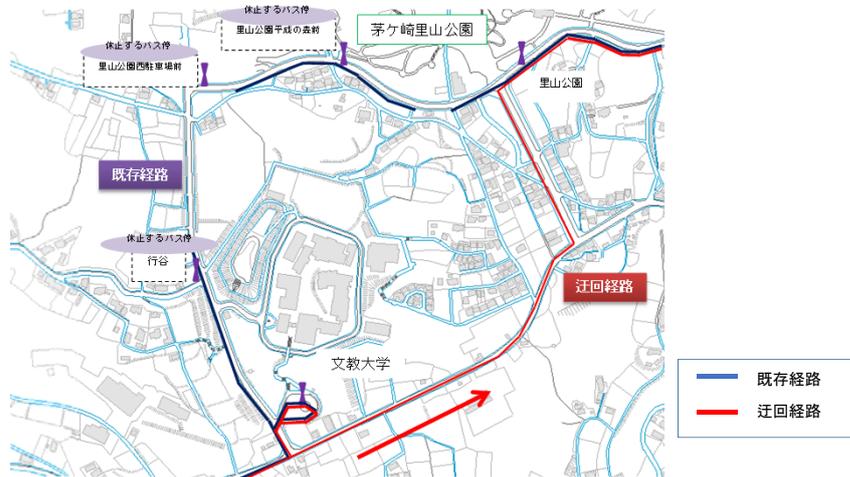
- 運行概要(現行と同様)

項目	予約型乗合バス
1 旅客自動車運送事業の種類、態様	一般乗合旅客自動車運送事業(区域運行)
2 運行事業者	神奈中ハイヤー株式会社
3 営業区域	茅ヶ崎市芹沢、堤、下寺尾、行谷エリア
4 乗降地	区域図のとおり
5 運行時間、運行本数	毎日運行 7:00~20:00 予約された時間・場所による(予約のない便については運行しない)
6 所要時間	最大30分、平均10分
7 利用運賃	1人1乗車100円(未就学児は無料)
8 車両詳細	乗用車
9 車両数	1両(乗車定員:10名)乗合専用車、5両(一般乗用旅客自動車運送事業と兼用)
10 乗車定員(最大)	10名
11 車両サイズ(最大)	長さ484cm、幅188cm、高さ210cm、車両総重量2520kg
12 乗車定員11人未満の車両を使用する必要性	区域運行の適正を生かし、大型・中型バスでは運行できない道路など様々な道路の運行を行うことで利便性の向上をはかるため。
13 予約方法	電話及びインターネットにて乗車の予約を行う。利用時間の1週間~1時間前までに予約。

25

4. 迂回系統の設定

- コミュニティバス北部循環市立病院線(新芹沢コース)において、茅ヶ崎里山公園で大きなイベントが開催される際には、混雑回避のため迂回運行を行う。



26

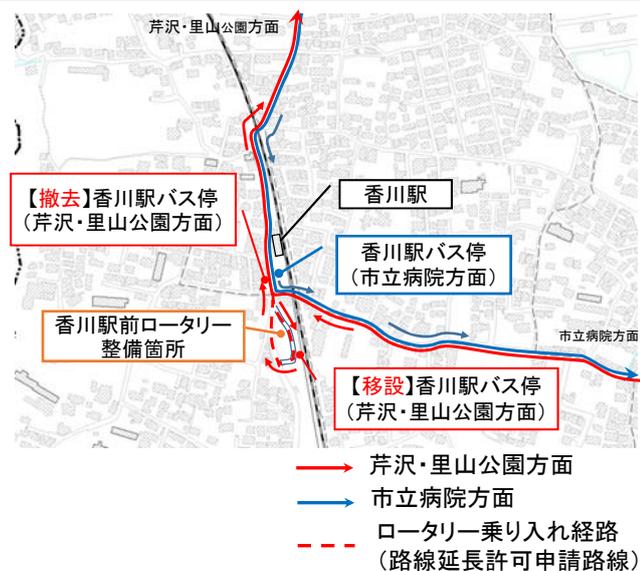
5. 香川駅前広場暫定整備 (1) バス停位置の移設

- 香川駅西口駅前広場整備に伴い、香川駅前バス停(芹沢・里山公園方面)を撤去し、ロータリーに移設する。

移設理由:

現在地は民地の中にバス停を設置しており、道路も狭いため車椅子の乗降ができず、また、バスベイがないため、停車時に交通の円滑化が阻害される。

※市立病院方面は現在のバス停を利用し、駅前広場には乗り入れを行わない。



27

(2) 施行後イメージ

●香川駅前広場整備(平成27年3月予定)

